

アンケートにご協力いただき ありがとうございました。

昨年5月のいわき医療ふるさと便に同封し、皆様からご回答をいただいたアンケート結果がまとまりました。

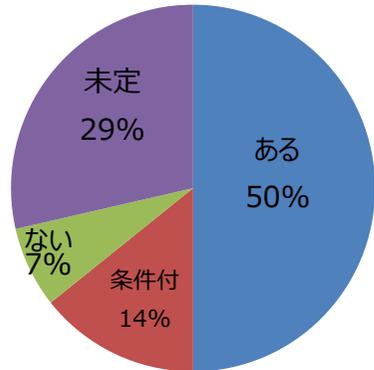
アンケート結果の概要は以下のとおりです。

皆様から頂いたご意見を参考に、今後のいわき市の地域医療の充実に向け、取り組んで参ります。

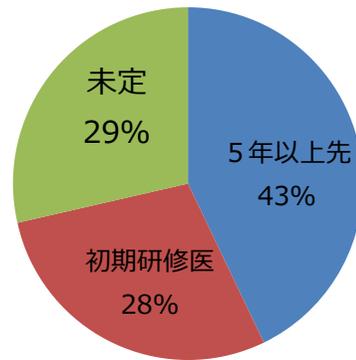
アンケートにご協力いただき、ありがとうございました！！

【結果概要】

○ 将来いわき市内で勤務又は開業する考えはありますか。



○ 「ある」と回答した方、具体的な予定はありますか。



○ 「条件付」と回答した方、どのような条件であればいわき市で勤務・開業しますか。（自由回答）

- ・費用面の助成があれば働いてみたい。
- ・定年後に可能であれば。

○ 勤務・開業の予定がない・未定の方、理由は？（自由回答）

- ・いわき市に魅力を感じない。
- ・いわき市の医療に関する情報等が不足している。

【いわき医療ふるさと便 発行元（お問合せ先）】

〒973-8408 福島県いわき市内郷高坂町四方木田191
いわき市 保健福祉部 地域医療課
TEL : 0246-27-8572 FAX : 0246-27-8573
Mail : chiikiiry@city.iwaki.lg.jp

いわき医療ふるさと便

いわき市 保健福祉部
地域医療課
平成31年3月号

いわきの医療の
「いま」をお届けします！



日ごと春めいている今日この頃、皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今回のいわき医療ふるさと便では、いわき市の医師確保の取り組み状況や、いわき市の医療環境を知っていただくため掲載を開始した「m3.com病院クチコミナビ」の紹介をいたします！

診療所開設支援事業を創設しました！！

○ 市外の医師等が、いわき市内に診療所を開設する費用の一部を補助する制度を創設しました。

1 補助の対象

- (1) 直近3ヶ月に市内医療機関等で勤務をしていない医師
・市内に診療所を持たない医師・法人 がいわき市内に診療所を開設
- (2) 継続して10年以上診療する見込みがある
- (3) いわき市医師会に加入し、積極的に地域医療・在宅医療に貢献
- (4) 休日夜間急病診療所に協力
- (5) 在宅当番医制事業に協力
- (6) 市が行う医療・保健・福祉事業に協力
- (7) 承継の場合、譲渡人と譲受人が2親等以内の親族を除く

2 補助の対象となる診療科 すべての診療科

3 補助の対象となる経費

- (1) 診療のための土地の取得経費
- (2) 診療のための建物の新設、取得、改修、拡張にかかる経費
- (3) 診療のための機器の購入経費

4 補助額

1 診療所につき、補助対象経費に係る額の3分の2以内とし、**2,000万円**上限。分娩施設を有する産婦人科・産科並びに小児科を標榜する診療所は、**3,000万円**上限

5 事業期間

平成31年4月1日から平成36年3月31日までの5年間

興味をお持ちの方は、地域医療課までお問い合わせください！！

新たな寄附講座を設置

平成29年に創設した「共創型・地域医療寄附講座開設事業」の第一号となる寄附講座について、平成31年3月26日、東京医科大学と設置に関する協定書を締結しました。



(左から 矢崎 東京医科大学理事長、清水 いわき市長、林 東京医科大学学長)

この協定に基づいて、平成31年4月1日から福島労災病院で3名の常勤医に勤務いただくこととなりました。

【寄附講座概要】

開設大学 : 東京医科大学
寄附講座名 : 東京医科大学運動機能再建外科学いわき地域教育寄附講座
設置期間 : 平成31年4月1日から5年間
診療科 : 整形外科
研究体制 : 常勤医3名
研究場所 : 独立行政法人労働者健康安全機構 福島労災病院

○ 大学関係者の皆様へ ~寄附講座の開設について~

「共創型・地域医療寄附講座開設事業」は、市内の病院を運営する法人と市が連携して、医学部を有する大学に寄附講座の開設を図るものです。

引き続き、本制度を活用した寄附講座の設置にむけて取り組んでまいりますので、寄附講座開設の条件等詳細について興味のある方は、地域医療課までお問い合わせください。

○ 医学生の皆様へ ~修学資金制度をご利用ください~

いわき市内の病院では、医学生を対象とした修学資金制度を実施している病院があります。

各医療機関の制度一覧を同封いたしましたのでご覧ください。

詳細な資料が必要な場合は、お気軽に地域医療課まで御連絡ください。

「m3.com病院クチコミナビ」に いわき市の特集記事を掲載しています。

医師の皆さんに本市の医療環境を知っていただき、本市へ興味を持っていただきたいと思い、「m3.com病院クチコミナビ」でいわき市の特集記事の掲載を開始しました。

また、松村耕三先生（松村総合病院）、渡邊聡子先生（かしま病院）、石田厚先生（呉羽総合病院）にご協力いただき、本市の医療環境などについてのインタビュー記事も掲載しております。

今回は本市の子育て環境などをお話いただいた渡邊先生のインタビュー記事をご紹介します。



(渡邊聡子先生)

「東日本大震災という経験から、一人ひとりが人間らしく生きていくためにはどうあるべきか、いわき市の医療機関はより深く考えるようになったと思いますね。

かしま病院も例外ではなく、子育てやスキルレベルなど、一人ひとりの状況に応じて柔軟な勤務体系を調整してくれます。

たとえば、私が出産した際には育児休暇を1年取得させてもらい、育児期間中は週の

半分を病院で、残りを在宅で、という働き方を認めてもらっていました。こうした細やかな調整は、「あなたに勤務し続けてほしい」という思いが伝わりましたし、その思いが伝わったことで、より「ここで働き続けたい」という気持ちも強くなりました。

私の夫もこのかしま病院で働いているのですが、男性の働き方にもフレキシブルに対応してくれますね。それによって、1歳3ヶ月になる息子の子育てを夫も積極的に手伝ってくれています。出産前には、いわき市が主催する子育て勉強会の「プレママ・プレパパクラス」にも夫と一緒に参加させてもらい、あらためて、たくさんの人に支えられて仕事や生活ができていと感じることができたり、出産を控える多くの夫婦と交流したりするなどの貴重な経験をすることができました」

本市の特集記事、他の先生のインタビュー記事のURLは次の通りです。

<URL>

<https://career.m3.com/kuchikominaivi/official/iwaki/index>

皆様もぜひアクセスしてください！！